

芋菓子食べてハッケヨイ!?

いの町の業者 紙相撲でギフト

【土佐】吾川郡いの町の芋菓子製造販売店「いのTERRACE」はこのほど、底面を紙相撲の土俵に見立てた段ボール箱でのギフトセット販売を始めた。新型コロナウイルスの影響で旅行や帰省ができない人も多いため、「芋菓子を食べながら、少しでも家での時間を楽しんでもらいたい」と呼び掛けている。

国沢英誠代表(52)が昨年末、家での時間を楽しむツールとして紙相撲に使える段ボールを提案。芋チップ

2袋と、自分で芋けんぴを調理できる砂糖付きの芋けんぴを入れたギフトセットにした。

段ボールには力士も印刷されており、切り取って使用できる。税込み1620円(送料別)で、購入希望者は同店のホームページか電話(088・802・8505)で申し込む。

国沢代表は「県外の人にも芋菓子で高知を懐かしんでもらいたい」と話している。

(山崎友裕)



段ボール箱の底面で紙相撲を楽しむギフトセット(いの町の「いのTERRACE」)

にドム